

はっくつ 2000

＝栗東町話題の発掘調査＝

土塁(堤)をもつ弥生時代の大溝

—下鉤東遺跡—



下鉤東遺跡は、弥生時代の環濠や大型建物が確認されている下鉤遺跡の東側に位置しています。

今回の調査では弥生時代後期の集落をめぐる大溝（幅約3～3.5m、深さ1.5～1.6m）が確認され、その両側に土塁もしくは堤（幅3.5m、高さ25～30cm）と考えられる盛土が確認できました。

通常、後世の削平により残っていることがほとんどなく、たいへん貴重な発見となりました。

弥生時代の溝から 足跡を発見

—十里遺跡—



溝の底に残る足跡と農具の痕跡

栗東町域で最も琵琶湖側に位置する十里は、古代栗太郡の平野部で農地として開拓・整備された条里型地割の地名が残る集落として有名です。今年度の調査は集落の南側で実施し、弥生時代後期の遺構が見つかりました。調査区の中央を東から西へ流れる河川。その川を挟んで南側に土坑群、北側には溝があります。

河川は幅8mから6m、深さ1.3mで、下層の砂粒層から弥生土器や農具、建築部材などが出土しました。

土坑群は数十cmから数mの土坑約160基で、性格は不明ですが、円形のものには炭層がみられ甕や浅鉢が出土することから炊事用の土坑、不整形のものは粘土の採掘坑等が考えられます。

溝は幅0.6～1m、深さ10～20cmで十数条確認されました。洪水砂で一気に埋った溝の底には人の足跡と鋤先と思われる農耕具の痕跡が多数残っていました。



遺溝を上空から見る

竪穴住居・ピットから碧玉製品を発見

—辻遺跡—

辻遺跡は栗東町大字辻を中心に、多数の竪穴住居を持つ古墳時代の大集落です。遺跡の初源は縄文時代ですが、近年の成果として、古墳時代の碧玉製玉作り工房の存在が確認されています。

碧玉とは石英の一種で、緑色をし、島根・福井・富山・石川県などの日本海側が主な産地です。

栗東は産地から外れるため、日本海側から石を輸送したと思われます。この際、原石だけを輸送したのか、日本海側で製作に失敗した石も、一緒に持ってきたか分かりませんが、辻遺跡で大がかりな玉作りが行われた事は確かです。

今回の調査では4～5世代の竪穴住居からは碧玉製の管玉・石釧（腕輪）や、石の加工に用いた砥石が。ピット（楕円形の掘り込み）からは玉杖の鐙（杖の一番下にあたる）が出土しました。

玉杖は、儀式や権威の象徴に用いられ、主に古墳から出土しますが、こうした宝器が当地で作られ、支配者に供給されたとすれば、辻遺跡は生産・物流の拠点として栄えたことがうかがえます。

拠点集落の構造を知る上で、今後の調査に期待されます。



調査地全景

飛鳥から室町時代以降の集落

— 林遺跡 —



町道建設に伴う林遺跡の調査で、飛鳥時代の竪穴住居をはじめ室町時代以降の掘立柱建物や水路などが見つかりました。なかでも調査区西よりの土坑や川の中から、信楽や瓦質の土器類にまじって鉄さい、溶壁片、ふいごの羽口などが出土しました。また、バラバラになった鋳型や焼土がたくさん詰まった土坑もみつっています。この付近で、鍛冶もしくは鋳造など鉄関連の作業場が存在していた可能性があります。このことは室町時代の文献に、林の「いわいづか」に鍛冶屋の名がみられることから証明されます。

この他、少量ながら縄文時代の土器片や打製石斧が出土し、今後の調査で縄文時代の生活跡がみつかるかもしれません。

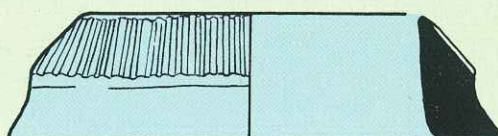
▲作業風景（飛鳥時代の竪穴住居周辺）



▲ 室町時代の集落（上空から西を見る）



▲ 石釧の出土した竪穴住居



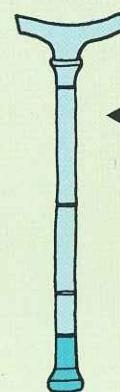
▲ 石釧の実測図（実物大）



▲ 玉杖鐵出土状況



◀ 玉杖鐵
実測図
(2分の1)
まだ製品
として未
完成であ
る。



◀ 玉杖
(アミかけは
鐵) 通常の長
さは20～50セ
ンチで、幾つ
かの部品を鉄
の棒(軸芯)で
つないだ

栗太郡衙の東限か？ 場所を変え掘り直された溝を確認 — 岡遺跡 —

岡遺跡は近江国栗太郡衙^{ぐんが}です。方形に区画された郡庁や正倉などに古代の役所の姿をうかがうことのできる貴重な遺跡です。今年度の調査では幅3m以上、深さ70cmの区画溝2条などが見つかりました。

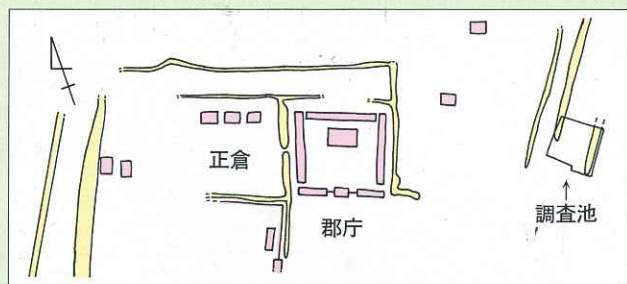
溝1は以前に滋賀県教育委員会が発掘した溝の続きです。調査区域内で突然途切れています。出土遺物や堆積状況から、7世紀後半に掘られ、8世紀前半頃には中程まで埋まり、その後人為的に埋められたことが分かります。この溝の西側では8世紀前半に掘られた溝があるので、その溝を掘った土で埋められたのかも知れません。溝3は溝1の東18mに並行して掘られています。遺物は9～10世紀の灰釉陶器が出土したため郡衙の廃絶期に営まれた溝と考えられますが、中世黒色土器片が混入しているため時期の決定には至りませんでした。



区画溝 1



区画溝 3 水量調整の畔状遺構



遺構配置図



調査地全景



遺跡の位置

はっくつ 2000

栗東町話題の発掘調査

発行日 2000年3月31日

編集・発行 (財)栗東町文化体育振興事業団
埋蔵文化財調査課

栗東町出土文化財センター内

〒520-3011 滋賀県栗太郡栗東町下戸山47

TEL 077-553-3359 FAX 077-553-3514

印刷・製本 株式会社 スマイ印刷工業